

住まいと暮らしを支えるわたしたち が“地域でつながる”ために

●それぞれの違いを知る

目的：利益追求／課題解決

重視するもの：早さ・速やかに／説明責任・公平性

●相手の置かれた立場や状況を知る

なぜあの人は・・・！⇒だからあの人は〇〇なのか

●自分の仕事内容を半歩広げる

仕事が増える⇒仕事を楽にするためにつながる

●本音で話す

困っていること、できること、やりたいこと

住居は福祉の基礎



早川和男『住まいの論理』
嵯峨野書院、1995